

岡山県津山市 & 早稲田大学 地域連携ワークショップ° 2022

地域連携ワークショップとは

まちづくり、地域ブランド、移住定住、観光……自治体が抱える課題の解決策を、学生チームが提案する実践型のワークショップです。学部・学年を超えて集まった学生同士が議論しながら仮説を立て、自治体関係者や住民の方々へのヒアリングなどを通して提案につなげます。地域の魅力を知り、課題を深く考え、仲間と協働することは成長の機会になります。

おススメのポイント！

- 現地調査の実施を含む対面・オンラインのハイブリッド形式で進める課題解決プログラムです
- 提案いただいた事業は **2023 年度以降、実施に向けた検討を行います。**
- **市長をはじめ地域住民の方々に、直接お話を伺いする貴重な機会があります！**

テーマ

「津山らしさ」の再発見と誘客施策を提案せよ！ ～津山市を屋根のない博物館に！～

津山市は、中国山地に抱かれた津山盆地を中心に発展してきた自然と文化にあふれる豊かな地域です。美作国の誕生以来、1300 年にわたり、岡山県北地域の政治・経済・文化の中心地として、育まれてきた伝統文化が今に伝えられています。

一方で、過疎化と少子高齢化等に伴い、地域を支える中心的な役割を担う人口が減少しており、都市の活力をどのように維持していくのが大きな課題となっています。中心市街地では空洞化が進行し、手入れの行き届いていない空き家が増え、歴史的建造物が立ち並ぶ景観を阻害する事例も増加しています。また、市域郊外では急激な開発による自然景観の変貌や、耕作放棄地の増加、森林荒廃なども散見されており、長い歴史の中で育み、伝えられ続けてきたかけがえのない「地域の有形・無形の文化遺産（＝津山らしさ）」が喪失してしまいかねない危機的な現状があります。

そこで、本市では、津山市全域を「屋根のない博物館」に見立て、市域に数多に存在する「津山らしさ」を守り、生かし、未来の創造につなげていくためのまちづくりの取り組みとして、「津山まちじゅう博物館構想（仮称）」の策定を進めています。

本ワークショップでは、同構想の具現化に向けて、「津山らしさ」の再発見と活用施策、具体的には津山誘客企画を提案いただきます。皆さんがヨソモノ・ワカモノの視点を生かして再発見する津山らしさとは何なのか、そしてそれを知ったひとびとが心から津山に行きたい、あるいはその魅力を守りたくするにはどうすればよいか、皆さんならではのアイデアを期待しています。

津山市の魅力

中心部には教育機関や医療機関が集積し都市機能を有する一方、郊外には山林や農地などの田園風景が広がります。宮大工の技術で組み上げた反りの発生しない家具・建具や金属加工技術による精密加工製品、縫製技術を活かした衣類・服飾雑貨、津山藩への献上品として続く和菓子や工芸品など、地域産材や技術を活かした高品質な製品やそれらを製造する魅力ある企業が多く存在しています。また、古くから牛馬の流通が盛んな土地として長い肉食文化をもち、「牛肉の聖地」とも称されています。



募集概要

募集期間	2022年12月2日（金）～12月18日（日）23：59 [期間厳守]
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生（修士課程）（学部、専攻、学年問わず）
応募条件	原則として事前説明会（オンライン）への出席 および 全ての公式日程（次頁）への参加が可能なこと
募集人数	2チーム（10名）
応募方法	<p>事前説明会（オンライン）について【要申し込み】 日程：12/6（火）、12/8（木）、12/9（金）、12/12（月）、12/14（水）、12/16（金） 時間：12:20～12:45（全日程共通）</p> <p>※申し込み方法などの詳細は、Waseda メールもしくは Web ページ上でのご案内に記載しています。 ※すべての回で内容は同じです。上記 6 日程のうち、いずれかの回にご参加ください。 <u>（説明会出席後）以下の手順もしくは右の QR コードのリンク先から申請してください。</u></p> <ol style="list-style-type: none"> ① MyWASEDA の「お知らせ一覧」から「地域連携ワークショップ 2022 春編」を検索 ② 「地域連携ワークショップ 2022 春編応募フォーム」から「申請」をクリック ③ 必要事項（志望理由、ワークショップ期間中のスケジュールなど）を入力して申請 
選考方法	<p>書類選考：結果通知は2022年12月27日（火）までにWasedaメールにて通知します。 ※面接選考（オンライン）を実施することがあります。その際は対象者に別途ご案内します。</p>
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> ① 当ワークショップは一般授業とは扱いが異なります。成績評価・単位認定等はありません。 ② フィールドワーク（現地調査）の実施を含む対面・オンラインのハイブリッド形式で実施します。活動地は早稲田キャンパス、津山市内となります。 ③ 【重要】公式日程以外にも、自主的にミーティングやグループワークを実施する機会が多く、期間中は当ワークショップの活動が中心となるよう、スケジュール管理はくれぐれも注意してください。 ④ 【重要】フィールドワークへの参加にあたっては出発前に PCR 検査等を受検し、結果を提出いただく必要があります。受検方法、スケジュール等は参加者にご案内します。 ⑤ 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては対面でのイベント（オリエンテーションやフィールドワーク等）がオンラインでの実施に切り替わる可能性があります。その場合、「公共の場所では参加しない」「ヘッドセットなどを装着する」など、第三者に実習内容を知られることがないよう措置を講じてください。 ⑥ 参加にかかる費用（フィールドワーク期間中の交通費、食費、オンラインでの活動に必要な端末の購入費、通信費等）は参加者による実費負担です。ただし、フィールドワークにかかる現地までの往復交通費（JR 東京駅～津山駅）および宿泊費（市内ビジネスホテル）は市より全学補助があります。また、WSC メンバーズ基金（WASEDA サポートーズ倶楽部）からの支援により、5,000 円～10,000 円が補助されます補助の可能性がありますが（WSC メンバーズ基金からの補助可否ならびに金額はワークショップ開始時にご案内します）。取消および下線部 12/12 追記 【交通費ご参考（片道）】※あくまで目安です ・新幹線、在来線 17,790 円 ⑦ 【重要】当ワークショップに応募する場合、同時期に実施されるプロフェッショナルズ・ワークショップへの応募はできません。事前に各ワークショップの特色などをご確認の上、応募してください。 ⑧ 当ワークショップは複数の地域（第 2 希望まで）に応募することができますが、最終的に参加できるのは 1 地域のみです。当地域を第 1 希望として申請し、選考を通過した場合はその時点で第 2 希望の地域のワークショップには参加できなくなります。 ⑨ 早稲田大学の学生補償制度に加入いただきますが、新型コロナウイルスは補償の対象外となります。 ⑩ ワークショップ実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いとはなりません。 ⑪ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。
問合せ先	<p>教務部教育連携課（rbso@list.waseda.jp） ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部／研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。</p>

ワークショップスケジュール

	予定	日程	内容
①	オリエンテーション @早稲田大学	2023年 1月18日(水) 16:30~19:00	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者(学生/職員/自治体担当者)顔合わせ ・自治体担当者からの説明 ・自治体の課題およびテーマ設定に至った背景の説明 ・今後のスケジュール確認、事前調査の進め方などの説明
②	交流会 @早稲田大学	1月20日(金) 16:30~18:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニゲームなどを通して参加学生同士の親睦を深める ・フィールドワーク前の注意事項確認
③	事前調査期間	オリエンテーション ~2月8日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・各自で津山市やテーマに関する調査/情報収集などを行い、チームとしての仮説を立てる ・ヒアリングに関する事項(ヒアリング希望先、質問内容など)をチームで検討し、2月1日(水)までに自治体へ提出する ・授業や試験・レポート対応の合間で自主的にグループワークを実施し、議論を深める
④	オンラインヒアリング (@Zoom)	2月9日(木) ~2月14日(火) ※2/10(金)除く	<ul style="list-style-type: none"> ・事前調査をふまえ、提案の検証に必要なヒアリングを行う ※ヒアリング先のご都合に応じて実施時間は流動的となるため、左記の日程はスケジュールを空けておくようしてください。
⑤	フィールドワーク @津山市	2月15日(水) ~2月18日(土) 【3泊4日】	<ul style="list-style-type: none"> ・市内及び近隣市町村の施設などを訪問 ・市長をはじめ、市のキーマンの方々へのヒアリングを実施
⑥	中間報告会 @早稲田大学	3月1日(水) 13:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容の報告 ・自治体担当者(@オンライン)、大学職員が参加予定
⑦	プレ報告会 @早稲田大学	3月9日(木) 13:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> ・最終報告会に向けた進捗確認/発表練習 ※進捗状況によっては左記日程に追加で実施する場合があります。
⑧	最終報告会準備・ 追加調査期間	中間報告会 ~3月16日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・中間/プレ報告会でのフィードバック等をふまえたブラッシュアップ ・提案の再検証(必要に応じて追加のヒアリングを実施)
⑨	最終報告会 @早稲田大学	3月17日(金) 9:00~11:00	<ul style="list-style-type: none"> ・市長など自治体関係者や地域住民の方々(@オンライン)に向けて提案を発表(約2時間) ※最終報告会終了後、学生と大学職員との振り返り会(1時間程度)を実施するため、解散時刻は12:00頃となります。

※上記以外の日程は必要に応じて参加学生同士で相談し、自主的に集まる日程やオンラインでの会議等のスケジュールを決め、ワークショップを進めています(学生同士の話し合いに大学職員や自治体関係者が参加することもあります)。

実施の流れ

- オリエンテーション：自治体の方から課題（テーマ）やその背景を聞く
↓
 - 事前調査：
個人、チーム単位で地域やテーマについて調査。
課題に対する仮説を設定し、提案の方向性をまとめる。
どのような方にヒアリングしたいのか、どのような質問をしたいのかがリスト化
↓
 - 現地調査・ヒアリング：
自治体関係者、地域住民へのヒアリング（対面＋オンライン）
↓
 - 最終提案資料作成：
現地調査やヒアリングなどを踏まえ、仮説を検証し、最終提案資料をまとめる
↓
 - 最終報告会：自治体関係者、地域住民を前にプレゼンテーション
- 学生同士で時間を決め、対面での打合せや Zoom 等で議論を進める

過去のワークショップ参加学生の声

※当地域の参加学生以外のものも含まれます。

ワークショップでの活動を振り返って

- 「学生だけじゃ何も変えられない」から「学生だから変えられる」という経験ができました。（社会科学部 1 年）
- インターネットで得られる情報は一部に過ぎず、生の声を聞いて初めてわかることがたくさんあった。（中略）また、自分のアイデアを言語化する難しさを痛感した。（文化構想学部 2 年）
- 活動を進めていく中で自分が得意としていることと苦手としていることもはっきりと判明しました。1 ヶ月半課題と向き合うことで、今後自分を成長させるための手がかりを得ることができたと感じています。（人間科学部 2 年）

チームメンバーとの関わりを通して

- 元々考えていた案がヒアリングなどを通じて崩れても、また新たなものを考えようと前向きになれたり、（中略）ひとりではなくチームで提案を構築することの素晴らしさや難しさを体験できたので、今後活かしていきたいです。（教育学部 2 年）
- 意見を交わさなければ何も始まらないので否が応でも話さなければならない環境で、（中略）それぞれ全く異なる視点から物事を分析しているということがよくわかりました。（政治経済学部 2 年）
- あまり自己主張が得意ではなく、自己肯定感も低めだった自分ですが、今回の WS を通して相手の考えを尊重しながらも自分の意見を主張する大切さを学び、自分の得意なこともチームメンバーに教えてもらいました。（人間科学部 3 年）

「地域貢献」「地方創生」に対する考えの変化

- 自分が住む地域をよりよくするために、行政の方々だけでなく、ヒアリングでお伺いした多くの方々それぞれ熱い思いをもって様々なことを考えていらっしゃることがとても印象的でした。今思えば、ワークショップ参加前は「地域貢献」「地方創生」といったキーワードを軽く考えていたと思います。（教育学部 1 年）
- 「地域振興」は地元の人を中心にやるものというイメージから、外部の人でもできる、むしろ外部の人でなければできないこともあるというイメージに変わりました。（政治経済学部 2 年）